

2021年3月29日(月)
第97回九州教育社会学研究交流セミナー

専門職大学・専門職短期大学の 教職員組織と教育課程



○立石 慎治・小方 直幸・谷村 英洋

本発表について

【位置づけ】

九州大学教育社会学研究集録第21号に所収の「専門職大学・専門職短期大学の教職員組織と教育課程」について御報告

【当該資料の目的(と免責)】

「本資料は、専門職大学・専門職短期大学を研究する可能性のある将来世代に向け、制度発足期の専門職大学・専門職短期大学の基本情報を学術的な資料として保存することを目的としている」(配布pdf, p.1)

【謝辞】

本研究は JSPS科研費 JP20H01697 (代表:小方 直幸) の助成を受けたものです。

制度発足期における(高等教育研究の)問題点

- 「専門職大学」「専門職短期大学」「専門職学科」制度の創設(2019年度～)

実践的な職業教育を行う新たな高等教育機関. ほぼ半世紀ぶりの制度改訂(短期大学制度(1964年)の以来)

「一般的に制度発足期の研究は、高等教育機関自体の誕生や離陸に関して体系的に記述されることは少ない。」

- 消えてなくなる設置時の実態

高等教育機関の設置の状況を知る手がかりの基本資料:『設置認可申請書類』

文科省の大学設置室のWeb上で公表 → 随時更新されるため3年程度分しか確認できない。

基本的な書類であるにも関わらず、いつでもどこでも入手が容易にできるわけではない。

→ 国立国会図書館インターネット資料収集保存事業(WARP)や Wayback Machine がフォローしていないことも

- 基本情報を学術的な資料として保存すること自体に意味があるのではないか？

学術的な資料自体の保存が十分に行われているとは言い難い

資料保存の学問的価値についても十分な地位が与えられているわけでもない

制度の背景 — 寺田(2018)に依拠して

- 歴史的背景
 - 高等職業教育機関を短期高等教育機関の設立により限定的対応にとどめてきたこと
 - 専修学校をいわゆる1条校以外の学校として制度化してきたこと
- 制度化を巡る論点
 - 新たに必要とされる人材と既存機関における養成可能性
 - 付与すべき資格・学位、国際通用性
 - 設置基準のあり方等
- 推進主体:政治家や専修学校団体
 - 従来の大学・短大、専門学校とは異なる新たな大学制度として位置づけ
 - 独自の課程や設置基準に基づくものとして決着

制度の概要

	専門職大学	専門職短期大学
修業年限	4年制	2年制又は3年制
区分制課程 (前期課程・後期課程)	可	不可
学位	学士(専門職) 短期大学士(専門職) * 前期課程修了	短期大学士(専門職)
想定入学者層	多様(高等学校卒業生, 社会人学生, 編入学生)	
入学者選抜	実務経験や保有資格、技能検定での成績等を考慮した多面的で総合的な評価を推奨	
教員	必要専任教員数の凡そ4割以上を実務家教員とし、かつその半数以上は研究能力を併せ有する者	
教育課程の編成	産業界等と連携した教育の実施が義務づけられ、当該の専門性が求められる職業従事者や、当該職業に関連した事業者等の協力を得て、教育課程を編成・実施 卒業要件単位の3~4割程度以上を実習等の科目	

遺すべき制度発足期の基本情報3点

- ① 入学者選抜と入学者の状況（各大学ウェブサイトより）
 - 入試の概要と学費等
 - 入学者選抜の実態については個別に事例調査が必要であり、また学年進行の結果を待つ必要もある

- ② 教職員組織とりわけ教員組織（教員数「教員名簿」、職員数「基本計画書」より）
 - 教員:専任－兼任の別, 実務家教員や研究能力を有する実務家教員の状況
 - 実務家教員が専任教員数の4割以上という要求
 - 理論と実務を架橋する研究者教員・実務家教員の適切な配置

- ③ 教育課程編成の特徴（「基本計画書」内の「教育課程の概要」欄より）
 - 実習系科目の配置や配当単位数
 - 科目分類 「基礎科目」「職業専門科目」「展開科目」「総合科目」
 - 履修区分 必修・選択・自由
 - 授業形態 講義、演習、実験・実習
 - 卒業要件に占める必修単位の状況

→個別機関であるいは職業分野の特性として、制度を特徴付ける各種の事項がどの程度の幅や多様性を有しているか

各ケースの沿革に基づく類型

	【新規展開型】	【専修学校転換型】
特徴	専修学校や大学等を既に設置済みの法人が新たに設置 (既存機関を一部のみ残す場合も含む)	設置済みの専修学校から転換 (複数機関から構成され既存機関の一部が残っている場合も含む)
具体例	<u>国際ファッション専門職大学</u> 、 <u>東京国際工科専門職大学</u> 、 <u>開志専門職大学</u> 、 <u>情報経営イノベーション専門職大学</u> 、 <u>ヤマザキ動物看護専門職短期大学</u>	岡山医療専門職大学、 <u>びわこリハビリテーション専門職大学</u> 、 <u>高知リハビリテーション専門職大学</u> 、東京保健医療専門職大学、静岡県農林環境専門職大学、静岡県農林環境専門職大学短期大学部

→なお、太字・下線を引いた機関は、法人として(グループを含む)文科省所轄の大学を既に設置していたところを指す

入試

大学・学部 短大・学科	修業 年限	学科 数	収容 定員	入試区分（2021年度入試）	入学金 （万円）	学費 （年額、万円）
国際ファッション専門職大学 国際ファッション学部	4年	4	794	募集人員194名で、入試区分は総合型選抜、学校推薦型選抜（各学科若干名）、一般選抜、留学生入試（各学科若干名）の4区分（区分ごとの定員内訳は記載なし） ※左記収容定員には編入学定員18名を含む	25-30	120-125
東京国際工科専門職大学 工科学部	4年	2	800	募集人員200名で、入試区分は総合型選抜、学校推薦型選抜、一般選抜の3区分（区分ごとの定員内訳は記載なし）	30	144-148
開志専門職大学 事業創造学部	4年	1	320	募集人員80名のうち総合型選抜35名、学校推薦型選抜（公募型）10名、同（指定校型）20名、一般選抜（個別試験型）10名、同（共通テスト利用型）若干名	20	108
開志専門職大学 情報学部	4年	1	320	募集人員80名のうち総合型選抜35名、学校推薦型選抜（公募型）10名、同（指定校型）20名、一般選抜（個別試験型）10名、同（共通テスト利用型）若干名	20	138
情報経営イノベーション専門職大学 情報経営イノベーション学部	4年	1	800	募集人員200名のうち総合型選抜50名、学校推薦型選抜（指定校推薦、公募制推薦）50名、一般選抜60名、私費外国人留学生（学校推薦型選抜）5名、同（一般選抜）25名、特別選抜（社会人）10名、特別選抜（帰国性）若干名	20	140
岡山医療専門職大学 健康科学部	4年	2	480	募集人員120名のうち総合型選抜60名、学校推薦型選抜30名、一般選抜30名	30	146(159)
びわこリハビリテーション専門職大学 リハビリテーション学部	4年	2	480	募集人員120名のうち総合型選抜入試36名、指定校推薦入試28名、公募制推薦入試25名、社会人選抜入試若干名、一般選抜入試23名、大学入学共通テスト利用入試8名	40	120
高知リハビリテーション専門職大学 リハビリテーション学部	4年	1	600	募集人員150名のうち総合型選抜30名、学校推薦型選抜（指定校推薦型選抜50名、公募推薦型選抜15名）65名、社会人選抜若干名、一般選抜（一般選抜25名、大学入学共通テスト利用選抜20名）45名	29	126
東京保健医療専門職大学 リハビリテーション学部	4年	2	640	募集人員160名のうち学校推薦型選抜40名、一般選抜96名、総合型選抜24名、社会人特別選抜若干名	30	163
静岡農林環境専門職大学 生産環境経営学部	4年	1	96	募集人員24名のうち一般選抜12名、学校長推薦選抜12名。学校長推薦選抜の募集人には社会人、私費外国人留学生という特別選抜枠の募集人員を含む	14-37	32
静岡農林環境専門職短期大学 生産科学科	2年		200	募集人員100名のうち一般選抜20名、指定校推薦25名、学校長推薦選抜55名。学校長推薦選抜の募集人には社会人、私費外国人留学生という特別選抜枠の募集人員を含む。	9-22	24
ヤマザキ動物看護専門職短期大学 動物トータルケア学科	3年		240	募集人員80名のうち総合型選抜50名、学校推薦型選抜20名、一般選抜10名、社会人選抜が若干名	15	128

- 2021年度入試、2021年度入学者向けの情報
- 学費＝授業料＋施設設備費＋実習費等
- 入学金や学費が学科によって異なる場合は最低額と最高額

入試

- 定員:

- いずれも収容定員1,000人未満 → 規模は必ずしも大きくない
- 学生募集の状況が経営の一つの鍵
 - Cf.) 静岡農林環境専門職大学・短期大学を除くと私立

- 入試区分・入学料・学費:

- 静岡農林環境専門職大学・短期大学は学費が突出して低い。
- その他の私立の機関の入学料、学費: 極端に低額、高額な例はない

Cf.) びわこリハビリテーション専門職大学と東京保健医療専門職大学 → 学費に30万円の差

参考) 2019年度私大入学者の授業料、施設設備費、実験実習費、その他を合わせた平均納付額(文部科学省2020):
法・商・経が約100万円理・工が約136万円、保健が約142万円

教員組織

大学・短大名	専任教員数	ST比 (専任)	専任教員 比率	専任教員内訳			実務家教員 計の比率 (実務家+研究 実務家の比率)	実務家教員計 に占める研究 実務家の比率
				研究者	実務家	研究 実務家		
国際ファッション専門職大学	52	15.3	47%	50%	37%	13%	50%	27%
東京国際工科専門職大学	36	22.2	45%	39%	22%	39%	61%	64%
開志専門職大学 (事業創造学部)	19	16.8	46%	58%	11%	32%	42%	75%
開志専門職大学 (情報学部)	18	17.8	51%	50%	11%	39%	50%	78%
情報経営イノベーション専門職大学	28	28.6	68%	21%	39%	39%	79%	50%
岡山医療専門職大学	28	17.1	28%	32%	46%	21%	68%	32%
びわこリハビリテーション専門職大学	39	12.3	30%	56%	23%	21%	44%	47%
高知リハビリテーション専門職大学	36	16.7	24%	67%	14%	19%	33%	58%
東京保健医療専門職大学	54	11.9	39%	43%	30%	28%	57%	48%
静岡農林環境専門職大学	24	4.0	38%	63%	13%	25%	38%	67%
静岡農林環境専門職短期大学	21	9.5	43%	19%	57%	24%	81%	29%
ヤマザキ動物看護専門職短期大学	14	17.1	33%	50%	29%	21%	50%	43%

教員組織

- ST比(収容定員／専任教員数):
 - 11機関中9機関が20人以下
 - 静岡の4人から情報経営イノベーション専門職大学の29人まで幅がある
 - 実習等も多いため、ST比は抑制ぎみか
- 専任教員比率(兼任教員も含めた全教員数に占める専任教員の比率):
 - 医療保健系で比率が低くなる傾向
 - 高知リハビリテーション専門職大学の24%から情報経営イノベーション専門職大学の68%までかなり幅がある
- 専任教員に占める実務家教員(実務家と研究実務家の合計)の比率:
 - 4割を下回る機関が2つ、最多は情報経営イノベーション大学の79%
- 実務家教員に占める研究実務家の割合:
 - 5割を切る機関が6機関、4割を切る機関も3機関

教育課程

大学・短大名	卒業要件単位数	必修科目単位数の比率	必修科目単位数に占める演習・実習科目単位数の比率	開設科目数					学位名称
				科目数計	内訳				
					基礎科目	職業専門科目	展開科目	総合科目	
国際ファッション専門職大学	126	89%	68%	68-71	28%	53-54%	14-15%	4%	ファッションクリエイション学士（専門職）、ファッションビジネス学士（専門職）、ファッションクリエイション・ビジネス学士（専門職）
東京国際工科専門職大学	124	86-91%	63-70%	64-73	16-19%	66-70%	12-14%	1-2%	情報工学士（専門職）、デジタルエンタテインメント学士（専門職）
開志専門職大学（事業創造学部）	124	90%	63%	84	25%	62%	12%	1%	事業創造学士（専門職）
開志専門職大学（情報学部）	130	89%	59%	93	23%	63%	13%	1%	情報学士（専門職）
情報経営イノベーション専門職大学	128	73%	77%	103	16%	64%	18%	2%	情報経営イノベーション学士（専門職）
岡山医療専門職大学	135	97%	37%	92-95	19-20%	64-65%	11%	5%	理学療法学士（専門職）、作業療法学士（専門職）
びわこリハビリテーション専門職大学	130-131	83-91%	41-43%	111-123	18-20%	55-59%	18-24%	2-3%	理学療法学士（専門職）、作業療法学士（専門職）
高知リハビリテーション専門職大学	140-141	84-91%	37-47%	223	9%	70%	14%	7%	理学療法学士（専門職）、作業療法学士（専門職）、言語聴覚学士（専門職）
東京保健医療専門職大学	145	93%	35-40%	127-134	22-23%	55-57%	18-19%	3%	理学療法学士（専門職）、作業療法学士（専門職）
静岡農林環境専門職大学	129	89%	43-45%	112	18%	71%	9%	3%	農林業学士（専門職）
静岡農林環境専門職短期大学	68	81-90%	58-62%	77	12%	69%	18%	1%	農林業短期大学士（専門職）
ヤマザキ動物看護専門職短期大学	107	72%	39%	68	15%	65%	18%	3%	動物看護短期大学士（専門職）

教育課程

- 卒業要件単位数：
 - 一部の医療保健系大学で140単位超
Ex.)高知リハビリテーション専門職大学, 東京保健医療専門職大学
- 必修科目の単位数が卒業要件単位数に占める比率：
 - 必修科目が占める割合は総じて高い → 特定の専門職を想定した教育課程の影響か
 - 最も高い岡山医療専門職大学では97%
 - 低い場合でも7割超
 - ヤマザキ動物看護専門職短期大学の72%、情報経営イノベーション専門職大学の73%
- 必修科目の単位数に占める演習・実習科目単位数の比率：
 - 情報経営イノベーション専門職大学の77%、国際ファッション専門職大学の68%などが相対的に高い
 - 医療保健系大学では低い傾向
 - 東京保健医療専門職大学の35-40%、岡山医療専門職大学の37%
- 開設科目数の内訳：
 - どの大学でも最も多いのは職業専門科目 → 総じて6割前後
 - 国際ファッション専門職大学の53-54%から静岡農林環境専門職大学の71%まで幅あり

さいごに

- 制度発足期の専門職大学・専門職短期大学の基本情報を資料として整理・保存
 - 当該制度の特徴を理解する上で最低限必要な事項を精選し、整理
- 今後本制度がどのように根付き、展開するかは現時点では未知数
……(資料には未記載の補足・論点)……
 - 今後の展開として、学生調査の実施等を予定。
 - 勃興している「実務家教員研究」の摂取
 - 二宮祐先生(科研「大学教育を担う「実務家教員」に関する基礎的研究」) ,
 - 丸山和昭先生(日本実務教育学会研究会講演「実務家教員の教育と研究とはなにか」)など